

地震・津波対策アクションプログラム2023

静岡県では「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2023」を策定し、地震・津波の被害を軽減するための取組を進めています。

10年後の目指す姿

地震・津波による犠牲者を減らし、被災後も命と健康を守り、健康に生活できる社会の実現

目標と方針

地震・津波から命を守る

- 防災施設や津波避難施設の整備
- 早期避難意識の更なる向上
- 自力で避難ができない人へのサポートを強化

被災後も命と健康を守り、生活再建に繋げる

- 避難所の生活環境の改善
- 感染症対策や自主防災活動の活性化
- 生活再建への支援の強化

地域を迅速に復旧し、復興へ繋げる

- ライフラインの耐震化の促進
- 復興に向けた市町の事前準備の促進

清水にお住まいの皆様へ

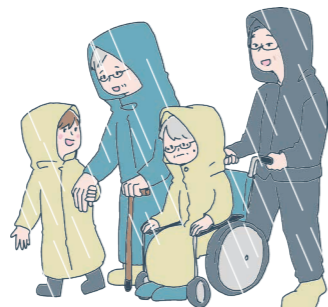
地震・津波の被害を軽減するためには「自助」・「共助」・「公助」の連携が不可欠です。一人ひとりが日頃から災害への備えをしましょう。

自助



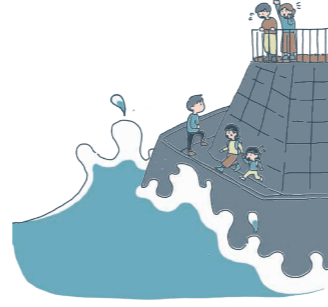
自分や家族の身を守りましょう

共助



近所の人や周りの人と助け合い避難しましょう

公助



公的機関が皆さまの安全を守ります
清水港管理局はここを担っています

詳しい情報は、「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2023」をご覧ください。



令和6年2月発行
静岡県清水港管理局企画整備課
〒424-0922
静岡県静岡市清水区日の出町9-25 清水マリビル3F
【TEL】054-353-2203 【FAX】054-354-0380

冊子に関するアンケート

ご意見・ご感想を
お待ちしております
(QRコードよりご回答ください)

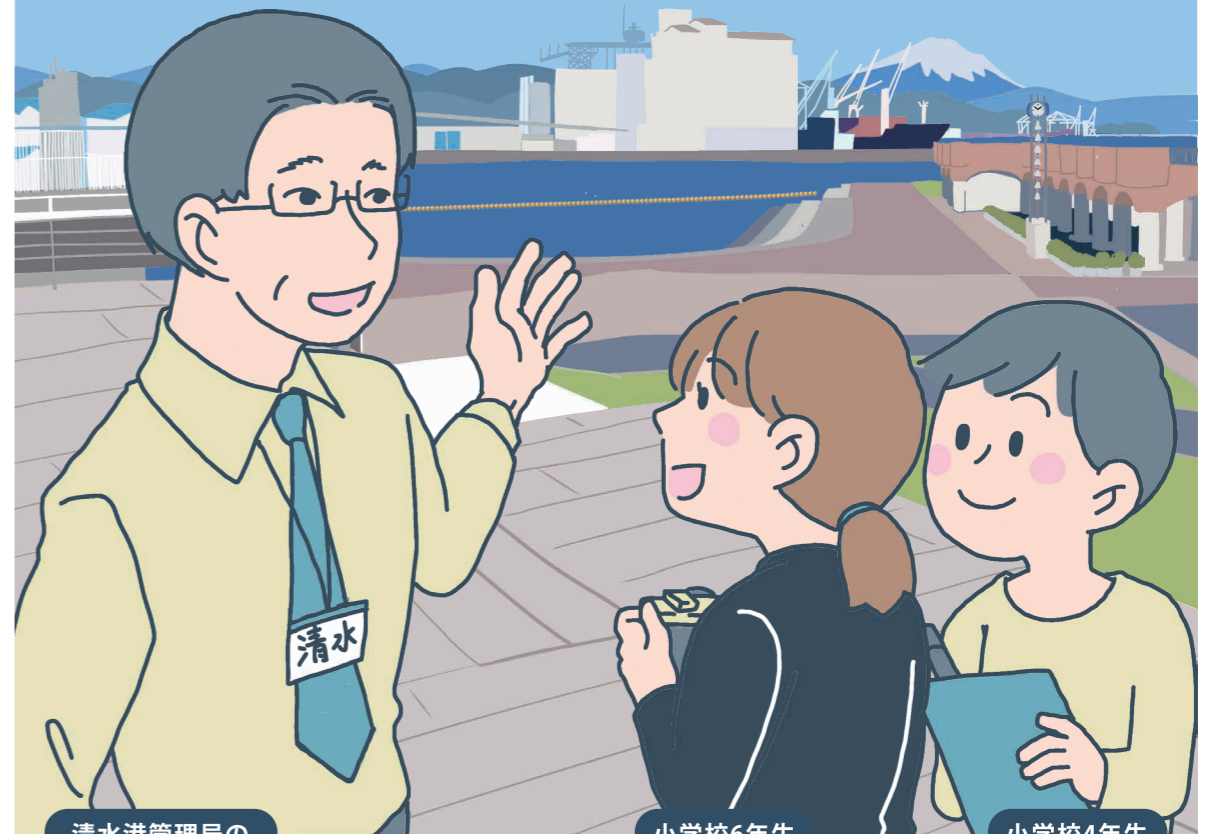


津波対策についての広報誌

清水港

みらいRe:Port

しみずこうみらいレポート vol.2



清水港管理局の
清水さん

小学6年生
なぎさちゃん

小学4年生
みなとくん

街を守るために進化する清水港

新しい姿に変わっていく日の出エリア。
変化する街の中で、人々が安心して暮らせるように
実はいろんな工夫がされています。

どんな仕組みが隠されているのか、見てみよう!



日の出地区の安全が向上しました！

【エスパルスドリームプラザ新館(PARK-side)前】

ドリームプラザの新館・本館ともに3階以上は津波の時に避難できる場所なんだよ

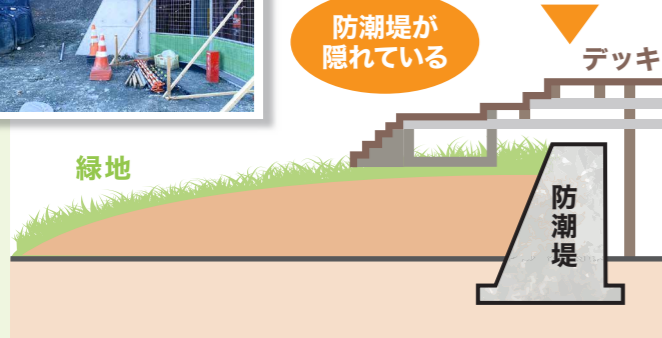


日の出エリア



日の出エリアの工事が一部完成しました。小高い丘の緑地公園に見えますが、実はこの下に、防潮堤が隠されているのです。景観に配慮しながら、地域の安全もしっかり守る、新たな憩いの場となっています。官民が一体となって行う防潮堤整備は、とても珍しい取組です。

実際の現場



盛土に隠れている津波防潮堤

これまでの防潮堤は、コンクリートの壁が地上に突き出し、街と海を分断する課題がありました。こうした景観上の問題を、防潮堤の前面に緑の丘を作って覆うことで解決しました。普段は緑地として、災害時には沿岸部からドリームプラザ新館への避難路として利用できるようになりました。



普段も災害のときも活躍するんだね！

防潮堤に見えない防潮堤づくり

9年前に整備計画策定委員会に委員長として招かれたわたしは、現地を何度も歩き、関係者の意見を聞きつつ、大きな二つの提案を行いました。

一つは「防潮堤に見えない防潮堤」にすること、そして富士山などの魅力的な風景を妨げないこと。もう一つは現場に実寸大模型を設けて、関係者と様々な角度から風景を検証し議論することです。

今般、道路がかさ上げされ、ドリプラ新館前に150mものスロープが出来、「防潮堤に見えない防潮堤」が完成しました。

実際に、かさ上げた道路と広場に立ち、当時思い描いたよりもずっとスケールの大きなすばらしい事業を見て感激しました。

ただ、これは全体計画のスタート事業です。日の出から江尻に至る地域で、どのような防災施設が出来てゆくのか、整備には困難が伴いますが、しっかり見守ってゆきたいと思います。



清水港海岸江尻・日の出地区津波防災検討委員会委員長 桑子 敏雄

これから進める日の出地区の工事

より確実に津波に対応できるようにしていきます



日の出エリア

起伏式陸閘(新型ゲート)の工事が始まります



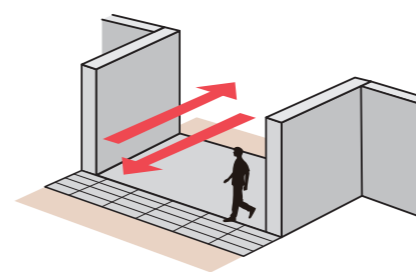
きふくしきりっこう 起伏式陸閘ってなあに？

今回、日の出エリアに整備する『起伏式陸閘』は、電気を使わず海水の浮力によって起き上がる仕組みの壁です。

自然の力で動くことにより、停電時などでもより確実に津波を防ぐことができ、街への浸水被害を防ぐことができます。

どうやって津波を防ぐの？

高さ：約2.5m

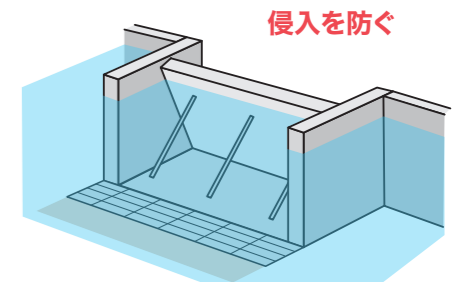


普段は道路の下に隠れていて、車や人が通れるようになっています。



①浮力で壁が浮く

海水の浮力をきっかけに、壁が起き上がります。

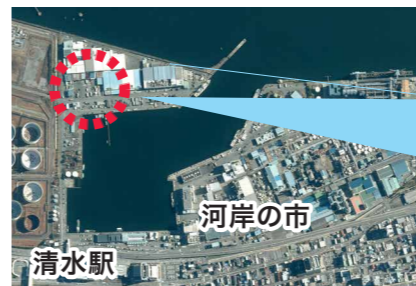


侵入を防ぐ

津波を止める壁になることで、街への浸水被害を防ぎます。

江尻港エリア

津波避難タワーが整備されています！



江尻港の埠頭に津波避難タワーが整備されています。このエリアは安全な避難場所までの距離が遠いことが課題だったため、近い場所に避難場所を整備することで、安全を確保できるようになっています。

より安心して過ごすことができそうだね！

